

令和3年度 山形県立高畠高等学校

入学式 式辞

雪で真っ白に覆われていた田畑も緑の息吹を取り戻し、街角には薄いピンクや黄色の春らしい色を見かける季節となりました。

この佳き日に、PTA会長 高橋正利様をはじめ、来賓の方々のご臨席の元、「令和3年度 山形県立高畠高等学校 入学式」を挙行できますことは、この上ない慶びであります。

ただいま、入学を許可した76名の新入生のみならず 入学おめでとう。心から歓迎いたします。

また、保護者の皆様、お子様の御入学、誠におめでとうございます。これまでお子様を育ててこられました皆様の御尽力に衷心より敬意を表すとともに、私共教職員に課せられた責任の重さに身の引き締まる思いでございます。お子様に寄せる思いを真摯に受け止め、私共教職員は、お子様の大きいなる成長を目指して教育活動に取り組んでまいります。どうぞ、本校の教育活動に御理解、御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



さて、義務教育を終えた皆さんは今まさに、「新たな学びの入り口」に立っています。そしてこの新たな学びには、三つの学びがあることを覚えておいてください。

一つ目の学びは「自立のための学び」です。生きていくために必要な人生の基礎や社会における原理原則を学びます。

二つ目の学びは、自分の職業を選択するための学びであり、選択した職業に生かすための知識や考え方、表現の仕方を学ぶ、「働くための学び」です。「自立のための学び」と「働くための学び」によって、人は暮らしていくことができます。

三つ目の学びは、「幸せな人生をおくるための学び」です。つまり、皆さんが歩み始めようとしている高校での学びは「自立し、働き、幸せな人生を送るための学び」です。

ただし、学ぶということは、それほど簡単なことではありません。「学び」とは、自分が変化して初めて学んだと言えるものだからです。そして、人はこの変化を「成長」と言います。人は、安易な方へ、楽な方へ変わることはすぐにできます。万有引力の如く、下に落ちることは容易く、しかもあっという間です。この変化は成長とは言いません。「成長」とは、大きな夢や理想的な結果を生み出すために、自分が変化することを言います。

そして、「成長」には、「能力的な成長」と「精神的な成長」があります。たとえば、文章表現が上手になった。キーボードをブラインドタッチで打てるようになったというのは能力的な成長です。一方、辛い人の気持ちが以前よりわか

るようになった。一度決意した目標に向かって努力を重ねることで忍耐力が付いた。というのは精神的な成長です。この二つの成長は、互いに循環することが大事なのですが、ここで私が特に皆さんにお願いしたいのは、精神的な成長へのアプローチです。

精神的に成長していくために必要なこととは一体どんなことなのでしょう。歳をとれば誰でも精神的に成長していくのでしょうか。そんなことはありません。自ら行動を起こさなければ獲得できないものです。皆さんの今後の成長に最も欠かせないのは、「何度もチャレンジし、何度も失敗し、何度も挫折感を味わうこと」です。最初からうまくいくことならば、誰にもできます。学びは必要ありません。

失敗したら、当然、嫌な思いをするでしょう。自分が小さく見えるでしょう。でも、それで終わりでしょうか。そんなことはないはず。自分をもっと大きくしたい、失敗しない人になりたいと思うのではないのでしょうか。これこそが、学びの原動力です。自分をもっと大きくしたい。自分が頭の中で描く理想的な結果をもたらしたいという思いこそが学びのスタートなのです。ですから、何事にもチャレンジしてほしいのです。

人類は何千年も前から「幸せな人生をおくること」を永遠のテーマにしてきました。人生が思うままにいくことはほとんどなく、しばしば予期せぬことに巻き込まれたり、時には今回のウイルス感染のような大災害が降りかかり、多くの犠牲を強いられ、厳しい現実を見せられるのです。そのような厳しい現実と直面しながら、人は自分の力が如何に小さいものかと否応なく感じさせられてきました。周りの人々の手を借りなければ何一つ手に入るものはないこと。自分のことだけを考えている限り、人は小さな存在から抜け出せず、自分が目指すところへは到達できないこと。そして、自分以外の人を笑顔にしない限り、自分も幸せになれないことを人類は悟ります。

その結果、「宗教」というものが生まれました。あるいは、国家というものを造って「社会制度」というものも創り出しました。家族を含めた周りの人々、社会全体の人々を思いやる気持ちがあって、他の人々と喜びを分かち合い、他人の笑顔を見ることで初めて自分が幸せになるものだと気づいたのです。それを一人の人間として理解し、実際にそれができるようになることを「知性」と呼びます。

知性とは、テストで点数が取れることのみを指すものではありません。スマホで調べればすぐにわかるものを知っていることではありません。知識をひけらかし、相手に勝ったつもりになることが知性ではありません。「知性」とは、社会を明るくし、人々を笑顔にする行動のことです。

つまり、学ぶということは、チャレンジを繰り返し、失敗することの本当の意義を知り、能力的にも精神的にもバランスよく成長することによって、本当の「知性」を身に付けることなのです。学びのゴールが本物の「知性」なのです。

これからの三年間を大いなる学びの時間とし、自分を磨き、そして本物の「知性」を身に付けてください。そのためには、自分にとって都合の悪いこと、簡単ではないこと、苦労や努力が必要なことに積極的に関わって、失敗を恐れず繰り返しチャレンジしていくことが大切です。

失敗を恐れてチャレンジしたくないだけなのに、言い訳だけがうまい人にならないでください。真剣にチャレンジしている人を、失敗したからと言って笑う人にならないでください。そうではなく、心から拍手を送る人になってほしいと願います。

皆さんは高畠高校第99回目の新入生です。来年、令和四年に、高畠高校は創立100周年を迎えます。皆さんが最上級生になる令和五年は、101年目を迎えます。皆さんには、高畠高校の新たな100年をスタートする最初の最上級生として、学びを通じた素晴らしい「知性」を携えて、新たな一步を踏み出してくれることを願います。

フレッシュな気持ちで高畠高校の門をくぐった皆さんには、今日からひとり一人の高校生活が始まります。今日は、新しい学びの始まる日であり、新たな友人との出会いが始まる日です。

改めて、「入学おめでとう。三年間の素晴らしい成長に期待します。」

令和三年四月七日

山形県立高畠高等学校

校長 遠藤 淳一